

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(国語)科目:(国語総合) 対象:(第1学年1～5組)

教科担当者:(1組:上村・更科)(2組:上村・更科)(3組:上村・更科)(4組:上村・更科)(5組:上村・更科)

使用教科書:数研出版 新編 国語総合 使用教材:浜島書店最新国語便覧 単位数:2 単位

	指導内容 【年間授業計画】	国語総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	世界は一つのクラスルーム	筆者から読者へのメッセージを読み取る。指示語の内容を捉える。	3
5月	児のそら寝	歴史的仮名遣いをよめるようにする。 説話のおもしろさを味わう。	4
6月	小説「とんかつ」	登場人物の特徴や置かれている状況、心情を読み取る。	7
7月	漢文入門・格言	訓読のきまりについて学ぶ。返り点・句読点・送り仮名の読み書きができるようになる。	3
9月	小説「羅生門」	小説の時代背景を理解し、作品展開のおもしろさを味わう。	10
10月	検非違使忠明	音読をすることにより、古文のリズムを体感する。 筆者のとらえた人間の愚かさを理解する。 筆者のとらえた日本語の語彙の変化を理解する。	6
11月	評論「ものづくり」	筆者の主張を捉える。	8
12月	漢文「助長」	漢文をルールに従って訓読し、故事成語と教訓について学ぶ。	3
1月	評論「水の東西」	筆者の指摘する西洋と東洋の文化の違いを理解する。 対比構造について学ぶ。	7
2月	詩「サーカス」	現代詩について学ぶ。	8
3月	新聞を読む 読書指導	社説・投書などの記事を読み、意見と事実を見分け、自分の意見を伝える場合の注意点を考える。 春休みに向けて、読書のきっかけを作る。	3
評価の観点・方法		定期考査に加え、小テストの成績・提出物の内容などを加味し総合的に判断する。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(地歴)科目:(日本史A) 対象:(第1学年1～5組)

教科担当者:(1組:安田印)(2組:花川印)(3組:花川印)(4組:安田印)(5組:安田印)

使用教科書:

使用教材:第一学習社 日本史A

単位数: 単位

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	第1部 特集1～3 第2部第1章第1節1～4	①図表、年表、写真等を活用し、近世史へ至る過程を概観する。 ②世界史的観点から幕末から維新までの変動を認識させる。 ③江戸幕府の政治、文化の概観と幕末の社会的矛盾を認識させる。	7
5月	第2節1～2節5	①幕末の志士の国家思想、攘夷思想、公武合体運動等の関連を概観する。 ②ペリーの来航から日米修好通商条約などの条約・外交関係を概観する。	7
6月	3節1～7	①近代国家の形成とその形態を概観する。 ②中央集権化と国民意識、国会開設の民権運動を概観する。	10
7月	3節8～10	①日本の前近代的遺制の存続、地主制の基盤と社会的矛盾を概観する。 ②国会開設の過程を概観し、民権と国権の関連を概観する。	4
9月	第4節1～12	①日本の近代化と中国、朝鮮半島との対外的緊張関係を概観する。 ②政党と藩閥政治の展開と矛盾を概観する。 ③欧米資本主義と日本の国内産業、産業革命の展開を概観する。	7
10月	第2章第1節1～9	①第一次世界大戦と中国、朝鮮半島における日本の外交・膨張政策を概観する。 ②議会政治の発展と大正・昭和の文化史を概観する。 ③平民宰相の誕生と軍部の台頭を概観する。	6
11月	第2節1～11	①第二次世界大戦、帝国主義、列強の中国、アジア分割を概観する。 ②第二次世界大戦下の日本の社会史、政治史、文化史を概観する。 ③アジアにおける民族主義と戦争の悲惨さ、平和への努力を概観する。	7
12月	第3章第1節1～4	①戦後の占領政策と民主化の動きを概観する。 ②戦後民主主義と日本国憲法の成立過程を概観する。	4
1月	第1節5～8	①戦後日本の混乱と日本国憲法、GHQの日本・アジア政策を概観する。 ②戦後の民主化運動と復興への過程を概観する。 ③戦後の混乱と解放感のあり方を概観する。	7
2月	第2節1～6	①国際連合と平和への国際的機関・外交の動きを概観する。 ②国内政治・政党の対立と冷戦下の国際関係・外交関係を概観する。	6
3月	第3節1～6	①高度経済成長と大量消費時代の生活・文化様式を概観する。 ②国際社会における日本の役割とその文化的固有性を概観する。	5
評価の観点・方法		定期考査・レポート・ノート提出、授業態度を総合的に考慮し評価する。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(数学)科目:(数学Ⅰ) 対象:(第1学年 1組～ 5組)

教科担当者:(1組:高石大樹 ㊟)(2組:高石大樹 ㊟)(3組:高石大樹 ㊟)(4組:高石大樹 ㊟)(5組:渡邉

: (1組:櫻井紀行 ㊟)(2組:久保祐介 ㊟)(3組:渡邊博幸 ㊟)(4組:久保祐介 ㊟)(5組:櫻井

使用教科書:新高校の数学Ⅰ 使用教材:ポイントノート数学Ⅰ(数研出版) 単位数:4単位

指導内容 【年間授業計画】		科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	【数と式の計算】 ①計算の基本 ②文字を使った式 ③単項式と多項式 ④多項式の加法と減法 ⑤多項式の乗法	・様々な用語の意味を正しく理解して、使用することができる。 ・整式の加法・減法ができる。 ・数を累乗で表すことの利便性を理解した上で、指数法則を使って、累乗の計算ができる。 ・指数法則、交換法則、結合法則、分配法則を用いて、整式の乗法が正しくできる。 ・乗法公式の意味や構造を理解した上で、公式を用いた式変形ができる。	9
5月	⑥展開の工夫 ⑦因数分解(1) ⑧因数分解(2) ⑨展開・因数分解の工夫	・式を目的に応じて変形し、式の見方を柔軟にする。 ・式の一部をひとまとめにして他の文字に置換したり、計算の順序を工夫して乗法公式が利用できる。 ・くり出しの意味がわかり、展開と因数分解との関係性がわかる。 ・因数分解の公式の意味を理解した上で、公式を用いた式変形ができる。 ・因数分解の公式の意味を理解した上で、公式を利用して因数分解をすることができる。 ・たすきがけを用いて因数分解ができる。 ・ある1つの文字に着目したり、1つの文字に置き換えるなど、式の特徴をとらえて因数分解をすることができる。	11
6月	⑩根号を含む式の計算 ⑪実数 【1次不等式】 ①1次方程式 ②不等式 ③不等式の性質 ④不等式の解	・平方根の意味がわかり、 $\sqrt{\quad}$ を正しくはずすことができる。 ・根号を含む数の四則計算ができる。 ・分母を有理化することの意味がわかり、それができる。 ・数を実数まで拡張することの意義を理解する。 ・実数の部分集合である有理数、整数、自然数、無理数等の意味がわかり、正確に区別ができる。 ・実数と数直線上の点の対応関係を正しく理解し、実数の大小関係がとらえられる。 ・絶対値の定義を正しく理解した上で、絶対値記号がはずせるようになる。 ・1次方程式をとくことができる。 ・いくつかの不等号の意味や違いがわかりそれらを使い分けることができる。 ・大小関係を不等式で表現できる。 ・2つの数の大小関係を理解した上で、不等式の性質を一般化する考察ができる。 ・等式の性質と不等式の性質について、その類似点と相違点について興味・関心を持たせる。 ・1次不等式の解の意味がわかり、数直線上に表すことができる。 ・不等式の性質を利用して、1次不等式を解くことができる。	15
7月	【1学期の復習】	・復習をして、学習したことへの定着を図る。	3
9月	【2次関数のグラフ】 ①関数 ②1次関数のグラフ ③ $y=ax^2$ のグラフ ④ $y=ax^2+q$ のグラフ ⑤ $y=a(x-p)^2$ のグラフ ⑥ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ ⑦ $y=ax^2+bx+c$ のグラフ	・関数の意味を理解して、関数の値を求めることができる。 ・座標について理解し、1次関数のグラフがかけられる。 ・ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフがかけて、特徴を理解することができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に、変形することができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ のグラフがかけて、特徴を理解することができる。	15
10月	【2次関数の値の変化】 ①2次関数の最大値・最小値 (1) ③2次関数の最大値・最小値 (2) ③2次方程式	・2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・1次関数のグラフと1次方程式の解の意味について、理解することができる。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の意味について理解することができる。 ・2次方程式の実数解の個数について、理解することができる。	12
11月	⑤グラフと2次不等式(1) ⑥グラフと2次不等式(2) 【集合と命題】	・2次関数のグラフと、x軸との位置関係について、理解 することができる。 ・1次関数のグラフを利用して、1次不等式を解くことができる。 ・2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。 ・集合の概念や用語を理解する。 ・命題の概念や用語を理解できるようにする。	10
12月	三角比のための準備学習	・三平方の定理や相似について復習する。	8
1月	【三角比】 ①直角三角形 ②三角比 ③三角比の値 ④三角比の利用 ⑤三角比の相互関係	・三角比の定義を理解して、三角比の値を求めることができる。 ・特別な角 30° 、 45° 、 60° の直角三角形の性質を理解し、辺の比が求められる。 ・三角比の表を利用することができる。 ・三角比の考えを実際の測量などの問題に利用できる。 ・三角比の間の相互関係(3つの公式)について理解することができる。 ・余角($90^\circ - A$)に関する公式について	9
2月	【三角形への応用】 ①正弦定理 ②余弦定理 ③三角形の面積 ④鈍角の三角比	・3つの辺と3つの角の正弦の関係を学び、活用できるようにする。 ・2辺とその間の角の余弦を用いて、三角形の他の1辺の長さを求めることができるようにする。 ・2辺とその間の角の正弦を用いて、三角形の面積を求めることができるようにする。 ・拡張した三角比の定義を理解して、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の9ヶの角の三角比を求めることができる。 ・ $180^\circ - \theta$ の三角比の公式について理解して、鈍角の三角比を鋭角の三角比に直すことができる。 ・三角比を用いて、平面上の距離や空間における距離を測量できるようにする。	13
3月	2年生への準備	・これまでに学んできた内容を振り返って、基礎学力の定着を図る。 ・2年生で必要になる展開公式、因数分解の復習	4
評価の観点・方法		定期テストの得点、ノート、問題集の提出状況、授業態度を加味して総合的に判断する。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度年間授業計画

教科: (理科)科目: (化学基礎) 対象: (第1学年1組～5組)

教科担当者: (1組: 鈴木◎)(2組: 鈴木◎)(3組: 鈴木◎)(4組: 鈴木◎)(5組: 鈴木◎)

指導内容 【年間授業計画】		理科（化学基礎）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	化学と人間生活	1. 人間生活の中の化学 ・金属の性質・プラスチックの利便性について理解する。 2. 化学とその役割 ・日常生活における化学物質について学ぶ。 ・セッケン作り。 セッケンが油から作られることを理解する。	5
5月	化学と人間生活 物質とその構成要素	3. 化学で取り扱う変化 ・状態変化は物質の熱運動によって変化することを学ぶ ・セルシウス温度と絶対温度との関係を理解させる。 1. 物質の成分と分離(1) ・混合物と純物質について理解する。 2. 物質の成分と分離(2) ・蒸留の実験を行い、混合物を分離する操作について理解する。 ・蒸留以外にも過、抽出、昇華法、再結晶などがあることを学ぶ。	8
6月	物質とその構成要素	3. 化合物・単体と構成元素 ・周期表を1～20番まで覚える。 4. 成分元素の確認 ・二酸化炭素と水の検出方法を理解する。 ・炎色反応に関する実験を行い、成分を確認する方法を理解する。 ・硫黄の同素体に関する実験を行い、同素体について理解する。 5. 原子のなりたち ・原子を構成する基本的な粒子について理解する。 6. 同位体とその利用 ・同位体は原子番号が同じで質量数が異なることを理解する。 7. 原子の電子配置 ・周期表1～20番までの電子配置をかくことができる。 ・原子の電子式をかくことができる。 8. 元素の周期律と周期表	8
7月	物質と化学結合	1. イオン ・イオンの電子配置をもとに陽イオン、陰イオンのでき方を理解する。 ・イオン式を覚える。 2. イオンからできる物質(1) ・陽イオンと陰イオンの間に静電的な引力がはたらくことを理解する。 イオンからできる物質の組成式を求めさせるようにする。	6
9月	物質と化学結合	3. イオンからできる物質(2) ・陽イオンと陰イオンの間に静電的な引力がはたらくことを理解する。 ・イオンからなる物質を組成式であらわせるようにする。 4. 共有結合 ・分子を理解する。 ・共有結合は不対電子を出し合って対をつくることで形成されることを理解する。 ・分子の電子式と構造式をかけるようにする。 5. 分子の構造と極性 ・分子の構造は様々なものがあることを理解する。 極性をもつ分子の物質の性質を理解させる。	8
10月	物質量と化学反応式	1. 原子量 ・相対質量について理解する ・相対質量はCの質量を12としていることを理解する。 2. 分子量・式量 ・分子量、敷料を原子量から確実に求められるように演習を通して理解する。 3. 物質量(1) ・1molが6.02×10 ²³ の集まりであることを理解する。 4. 物質量(2) ・分子量・式量を計算できるようにする。 ・気体の1molは標準状態で22.4Lであることを理解する。 5. 演習(物質量) ・物質量の計算を確実にできるようにする。	16
11月		6. 溶解と濃度 ・物質が溶けることを微視的な視点が理解できるようにする。 7. 演習(物質量と濃度) ・濃度の計算(質量パーセント濃度・モル濃度)を確実にできるようにする。	
12月		8. 溶解度	
1月	物質量と化学反応式	9. 化学変化と化学反応式 ・化学反応は原子の結びつきが変化することを理解する。 ・化学反応式の係数を求められるようにする。 10. 化学反応式と量的関係(1) ・化学反応式と粒子の数、質量、気体の体積の関係を計算で求められるようにする。 11. 化学反応式と量的関係(2) ・過不足がある場合の計算を理解する。	6
2月	酸・塩基とその反応	1. 酸と塩基 ・アレニウスの定義による酸・アルカリの分類を理解する。 ・代表的な酸、アルカリの電離式をかけるようにする。 2. 酸、塩基の強弱と水素イオン濃度 ・酸、塩基には強さがあることを理解する。 ・水はわずかに電離して水素イオンと水酸化イオンになることを理解する。 3. 水素イオン指数 ・pHの簡単な計算ができるようにする。 4. 中和と塩 ・酸とアルカリの反応を中和とよぶことを理解する。 ・中和によってできる物質が水と塩であることを電離式を踏まえて説明できるようにする。	8
3月	酸化還元反応	1. 酸化と還元 ・酸化還元反応の定義を理解する。 2. 酸化数と酸化還元反応 ・酸化数を計算できるようにする。 ・酸化数の増加減少から、酸化還元反応を理解する。 3. 酸化剤と還元剤と金属のイオン化傾向 ・代表的な酸化剤と還元剤の半反応式をかけるようにする。 ・金属のイオン化傾向を覚える。	5
評価の観点・方法		「定期テスト」、「プリント提出」、「小テスト」、「授業に取り組む姿勢」を総合的に判断して成績を出す。	

東京都立北豊島工業高等学校 2019年度年間授業計画

教科:(英語)科目:(コミュニケーション英語基礎) 対象:(第1学年1～5組)

教科担当者:(1組、2組、3組、4組、5組:菅野 ⑩・菊地 ⑩)

使用教科書: JOYFUL English Communication Basic (三友社)

使用教材:ワークブック、コーパス1800

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	クラス分けテスト Lesson1 We Choose	○人間とは何か、他の動物と比較して考える。 ・主語と動詞(一般動詞) ・一般動詞(疑問文、否定文) ・代名詞	6
5月	Lesson1 We Choose 中間考査 Lesson2 World Foods	○人間とは何か、他の動物と比較して考える。 ・主語と動詞(一般動詞) ・一般動詞(疑問文、否定文) ○世界の食べ物について学ぶ。 ・一般動詞(3人称単数)	8
6月	Lesson2 World Foods	○世界の食べ物について学ぶ。 ・一般動詞(3人称単数) ・一般動詞(3人称単数、疑問文・否定文)	8
7月	Lesson2 World Foods 期末考査	○世界の食べ物について学ぶ。 ・一般動詞(3人称単数) ・一般動詞(3人称単数、疑問文・否定文)	5
9月	Lesson3 Sanshin Day	○沖縄の音楽と人々の心について学ぶ。 ・be動詞の疑問文、否定文	8
10月	Lesson3 Sanshin Day 中間考査 Lesson4 Our Life	○沖縄の音楽と人々の心について学ぶ ・be動詞の疑問文、否定文 ○障がいを持つ人の暮らしと考え方から、新しい社会のありかたについて考える。 ・助動詞 ・進行形	8
11月	Lesson4 Our Life	○障がいを持つ人の暮らしと考え方から、新しい社会のありかたについて考える。 ・助動詞 ・進行形	8
12月	Lesson4 Our Life 期末考査	○障がいを持つ人の暮らしと考え方から、新しい社会のありかたについて考える。 ・助動詞 ・進行形	5
1月	Lesson5 Super Cool Biz Project	○民族衣装を通して、環境や文化への考え方にふれる。 ・be動詞、一般動詞の過去形の文、及び、その疑問文・否定文	6
2月	Lesson5 Super Cool Biz Project	○民族衣装を通して、環境や文化への考え方にふれる。 ・be動詞、一般動詞の過去形の文、及び、その疑問文・否定文	8
3月	Lesson5 Super Cool Biz Project 学年末考査	○民族衣装を通して、環境や文化への考え方にふれる。 ・be動詞、一般動詞の過去形の文、及び、その疑問文・否定文	5
評価の観点・方法		定期考査、平常点(授業態度、課題提出等)を総合的に判断し、評価する。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成30年度年間授業計画

教科:(芸術)科目:(美術Ⅰ) 対象:(第1学年1～5組)

教科担当者:(1組:喜多崎 ㊟)(2組:喜多崎 ㊟)(3組駒崎 ㊟)(4組:喜多崎 ㊟)(5組:駒崎 ㊟)

使用教科書:

使用教材:

単位数: 単位

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	絵画	○身近なものを描く ○植物を描く ○視点と表し方	2
5月	〃	○私の見付けた風景 ○人物を描く ○視覚のトリックを生かして	8
6月	〃	○想像を形に ○日本美術 ○浮世絵版画の魅力	8
7月	〃	○版で表す ○墨表現の可能性 ○漫画の表現	2
9月	彫刻	○彫刻の魅力 ○生命感や存在感を表す	8
10月	〃	○抽象彫刻で表す ○環境を彩る造形 ○祈りの形	8
11月	デザイン	○デザイン世界 ○私の考えるデザイン ○ポスターで伝える	8
12月	〃	○サインのデザイン ○イラストレーションの魅力 ○キャラクターのデザイン	6
1月	〃	○生活を彩る模様 ○パッケージのデザイン ○暮らしの中の「使う」デザイン	8
2月	〃	○デザインとテクノロジー ○作家探究 アントニ・ガウディ	8
3月	映像メディア表現	○写真表現 ○アニメーションの手法 ○映像で伝えるメッセージ ○若冲と今を結ぶ	4
評価の観点・方法		出席状況・取り組み・作品の完成等を総合的に判断して評価する。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成30年度年間授業計画

教科:(芸術)科目:(工芸) 対象:(第1学年 1組 ~ 5組)

教科担当者:(1組:駒崎 ⑩)(2組:駒崎 ⑩)(3組:大西 ⑩)(4組:駒崎 ⑩)(5組:大西 ⑩)

使用教科書:

使用教材:

単位数: 単位

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	観察から表現へ	○生活を観察する ○美しい造形へ	2
5月	〃	○観察と平面表現 ○観察と立体表現	8
6月	考える	○考え、話し合い、案を明確にする ○アイディアスケッチをする ○検討用模型をつくる ○レンダリング	8
7月	〃	○CG表現 ○図面 ○プレゼンテーション	2
9月	造形の知識・機能・構造	○機能と造形 ○にぎる ○つつむ	8
10月	〃	○構造と造形 ○すわる ○あかり	8
11月	造形の知識・成形・色彩	○さまざまな成形 ○つくる技術 ○材料の魅力 ○テクスチャー	8
12月	〃	○色彩と造形表現 ○色の体系 ○色の調和と働き ○日本の伝統色	6
1月	つくるー材料・技法演習	○木でつくる ○金属でつくる	8
2月	〃	○七宝でつくる ○土でつくる	8
3月	〃	○編む ○染める	4
評価の観点・方法		出席状況・取り組み・作品の完成等を総合的に判断して評価する。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(工業)科目:(機械基礎) 対象:(第1学年1～5組)

教科担当者:(1組:岩間Ⓔ)(2組:岩間Ⓔ)(3組:高橋祐Ⓔ)(4組:台Ⓔ)(5組:高嶋Ⓔ)

使用教科書: なし 使用教材: 3・4級計算技術検定問題集 単位数: 2単

	指導内容 【年間授業計画】	科目機械基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	電卓の基本の使い方を学ぶ	計算技術検定4級問題 四則計算 計算技術検定4級問題 集計計算	4
5月	電卓の基本の使い方を学ぶ	計算技術検定4級問題 実務計算 計算技術検定4級問題	7
6月	接頭語 単位の換算	K M G m μ n などの接頭語を理解させ日常使われている単位について理解を深める。	10
7月	距離 速さ	速さを求める式や秒速を時速に変換するなどの方法を学ぶ。	2
9月	工業的事象における電卓の使い方を学ぶ	計算技術検定3級問題 四則計算 計算技術検定3級問題 関数計算	8
10月	工業的事象における電卓の使い方を学ぶ	計算技術検定3級問題 実務計算 計算技術検定3級問題	8
11月	面積についての理解を深める	四角・円の面積の求め方	8
12月	式の変形・三角関数	式を変形し答えを出す方法を学ぶ $\sin \theta$ $\cos \theta$ $\tan \theta$ についての理解を深める。	4
1月	力のモーメント	力×距離についての理解を深める	8
2月	大きさ・回転方向	力のつり合いについて学ぶ。	6
3月	まとめ	1年間通しての予習・復習問題・弱点の克服	4
評価の観点・方法		中間考査、期末考査、授業中電卓での演習に取り組む態度、ノート提出、プリント提出、出欠状況などを考慮してクラスごとに総合的に判断し、学年全体で評価します。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(工業)科目:(電気基礎) 対象:(第1学年 1~5組)

教科担当者:(1組:佐藤正 ㊞)(2組:佐藤正 ㊞)(3組:立花 ㊞)(4組:佐藤正 ㊞)(5組:渡部颯 ㊞)

使用教科書:実教出版 電気基礎1 使用教材: 演習プリント等 単位数:2単位

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	直流回路	直流回路の電流と電圧 ・電気回路（直流・交流、数値の取り扱い、電荷）	4
5月		・ オームの法則（接頭語、電圧・電流・抵抗、オームの法則）	7
6月		・ 抵抗の接続（直列接続・並列接続・応用）	7
7月		・ 電池の接続	6
9月		電力と熱エネルギー ・ 電流の発熱作用（ジュール熱） ・ 電力と電力量（ワット、Kwh）	7
10月		・温度上昇と許容電流（温度上昇・ヒューズ） 熱と電気（熱電対）	7
11月		電気抵抗 ・抵抗率と導電率 ・抵抗温度係数	5
12月		・いろいろな物質の抵抗 ・いろいろな抵抗器	5
1月	交流回路	交流の基礎 ・正弦波交流 ・角周波数 ・交流の表し方	8
2月		R,L,Cの働き ・位相差とベクトル ・R,L,Cの単独回路 ・直・並列回路	8
3月		交流電力 力と力率 力 ・交流の電 ・皮相・有効・無効電	6
評価の観点・方法		授業態度・考査の得点・提出物を基に総合評価する。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(工業)科目:(情報技術基礎) 対象:(第1学年 1組~5組)

教科担当者:(1組:星野 ⑩、森田雅 ⑩)(2組:平出 ⑩、森田訓 ⑩)(3組:佐藤正 ⑩、星野 ⑩)

教科担当者:(4組:堀水 ⑩、森田訓 ⑩)(5組:平出 ⑩、高野 ⑩)

使用教科書:コロナ社 情報技術基礎

使用教材:演習プリント

単位数:3単位

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	コンピュータの基礎	コンピュータの動作原理 コンピュータの五大要素と基本構成について 中央処理装置とその動作について	9
5月	コンピュータの基礎	数の表現と演算 数の表し方について(10進数、2進数、16進数の基礎について) 数の変換について(10進数、2進数、16進数の相互変換について)	12
6月	コンピュータの基礎	2進数の加減算と乗算、2の補数	12
7月	コンピュータの基礎	基本論理回路 基本論理回路の組み合わせ	10
9月	コンピュータの基礎	組み合わせ論理回路 EX-OR回路と半加算回路	12
10月	プログラミングの基礎	流れ図とトーレス 直線、分岐、繰り返し処理	15
11月	プログラミングの基礎	C言語 変数、演算子、printf関数	12
12月	プログラミングの基礎	C言語 scanf関数、if文、for文	6
1月	コンピュータ実習	C言語 Word Excel	9
2月	コンピュータ実習	C言語 Word Excel	7
3月	学年末考査		1
評価の観点・方法		中間考査、期末考査、パソコン実習での課題の取り組み状況を見て総合的に判断する。 学年全体で判断。	

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(工業)科目:(製図) 対象:(第1学年 1組～ 5組)

教科担当者:(1組:木根淵 印、佐藤哲 印)(2組:今 印、森田 印)(3組:佐藤哲 印、松尾 印)

教科担当者:(4組:高橋祐 印、石亀 印)(5組:高橋祐 印、森田雅 印)

使用教科書:製図(実教出版) 使用教材:基礎製図 練習ノート(実教出版) 単位数:2単位

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	◆道具の使い方 ◆用語 ◆評価方法の説明 ◆教材(基礎製図 練習ノート)の①文字の練習, ②線の練習	◆英数文字……A形斜体文字(各種高さ)の書き方練習 ◆ひらがな, 漢字……丸ゴシック体の書き方練習 ◆線……各種(太い, 細い実線, 破線, 一点鎖線, 二点鎖線 直線, 曲線)の書き方練習	4
5月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の①文字の練習, ②線の練習	◆英数文字……A形斜体文字(各種高さ)の書き方練習 ◆ひらがな, 漢字……丸ゴシック体の書き方練習 ◆線……各種(太い, 細い実線, 破線, 一点鎖線, 二点鎖線 直線, 曲線)の書き方練習	6
6月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の①文字の練習, ②線の練習	◆英数文字……A形斜体文字(各種高さ)の書き方練習 ◆ひらがな, 漢字……丸ゴシック体の書き方練習 ◆線……各種(太い, 細い実線, 破線, 一点鎖線, 二点鎖線 直線, 曲線)の書き方練習	10
7月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の①文字の練習, ②線の練習	◆英数文字……A形斜体文字(各種高さ)の書き方練習 ◆ひらがな, 漢字……丸ゴシック体の書き方練習 ◆線……各種(太い, 細い実線, 破線, 一点鎖線, 二点鎖線 直線, 曲線)の書き方練習	4
9月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の③投影図と寸法記入法	◆第三角法(各種投影図[正面図, 平面図, 右側面図])で書く練習 ◆展開図 ◆寸法記入の方法とルールを学ぶ	8
10月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の③投影図と寸法記入法	◆第三角法(各種投影図[正面図, 平面図, 右側面図])で書く練習 ◆展開図 ◆寸法記入の方法とルールを学ぶ	8
11月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の④製作図, ⑤ねじ製図, ⑥課題	◆ねじの図示方法 ◆製作図(三角法の活用例基礎)	6
12月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の⑦応用課題, ⑧追加課題	◆基礎製図検定受検に向けて、練習ノートの応用課題(p39～40)をケント紙に書く	6
1月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の⑦応用課題, ⑧追加課題	◆基礎製図検定受検に向けて、練習ノートの応用課題(p39～40)をケント紙に書く	6
2月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の⑦応用課題, ⑧追加課題	◆基礎製図検定受検に向けて、練習ノートの応用課題(p39～40)をケント紙に書く	8
3月	◆教材(基礎製図 練習ノート)の⑦応用課題, ⑧追加課題	◆基礎製図検定受検に向けて、練習ノートの応用課題(p39～40)をケント紙に書く	4
評価の観点・方法		①授業中での演習や発言などの取り組む態度、②練習ノート提出 ③出欠状況などを考慮して総合的に判断し、学年全体で評価する	

東京都立北豊島工業高等学校 平成31年度 年間授業計画

教科:(工業)科目:(工業技術基礎) 対象:(第 1 学年 1 組～ 5 組)

教科担当者:(1組:木根淵 印、台 印、平出 印、立花 印)(2組:高橋徹 印、佐藤哲 印、三浦 印、森田訓 印)(3組:岩間 印、高橋祐 印、渡邊寿 印、菊池 印)(4組:岩間 印、細目 印、渡部颯 印、堀水 印)(5組:今 印、佐藤哲 印、佐藤正 印、菊池 印)

使用教科書: 工業技術基礎

使用教材

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
4 月	計測	電圧計・電流計の取り扱い	計器が正しく読める	1
	工作	テスターの製作1	部品の種類と役割が分かる	1
	アーク溶接	アークの発生の練習	溶接の仕組みが理解できる	1
	手仕上げ	ペーパーウエイトの製作 けがき	手仕上げに必要な工具の働きが理解できる	1

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
5 月	計測	電圧計・電流計の取り扱い	正しく配線ができる	3
	工作	テスターの製作1	半田付けが正しくできる	3
	アーク溶接	アークの発生の練習	アークを容易に発生できる	3
	手仕上げ	ペーパーウェイトの製作 けがき	図面から正しくけがくことができる	3
		0		

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
6 月	計測	オームの法則	オームの法則を使って、抵抗値や電圧、電流が計算できる	3
	工作	テスターの製作2	正しく部品をマウントし、半田付けできる。	3
	アーク溶接	ビード盛り	まっすぐにビードを盛ることができる	3
	手仕上げ	ペーパーウェイトの製作 やすりがけ	やすりがけで平面をだすことができる	3

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
7 月	計測	抵抗の直並列回路	回路の測定値と計算による 合成抵抗の値とを比較する ことができる	1
	工作	テスターの校正・取り扱い	テスターを正しく取り扱う ことができる	1
	アーク溶接	突合せ継ぎ手	2枚の板をひずみを考えな がら溶接できる	1
	手仕上げ	ペーパーウェイトの製作 ねじたて・仕上げ・磨き	ねじたてができ、製品とし て完成度を高めている	1

指導内容 【年間授業計画】		科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
8 月				

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
9 月	計測	分流器		3
	電気工事	電線の相互接続		3
	CAD／CAM	CAD／CAM装置の使用法		3
	鑄造	平型作業		3

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
10 月	計測	分流器		3
	電気工事	電線の相互接続		3
	CAD／CAM	CAD／CAM装置の使用法		3
	鑄造	平型作業		3

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
11 月	計測	倍率器		3
	電気工事	器具への接続		3
	CAD／CAM	キューブの製作		3
	鋳造	割型作業		3

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
12 月	計測	倍率器		3
	電気工事	器具への接続		3
	CAD／CAM	キューブの製作		3
	鋳造	割型作業		3

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
1 月	計測	ホイトストーンブリッジ回路		3
	電気工事	単位作業（ランプ点灯回路）		3
	CAD／CAM	ネームプレートの製作		3
	鑄造	鑄込み作業		3

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
2 月	計測	ホイトストーンブリッジ回路		3
	電気工事	単位作業（ランプ点灯回路）		3
	CAD／CAM	ネームプレートの製作		3
	鑄造	鑄込み作業		3

	指導内容 【年間授業計画】	科目 工業技術基礎 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定 時数
3 月	計測	ホイトストーンブリッジ回路		1
	電気工事	単位作業（ランプ点灯回路）		1
	CAD／CAM	ネームプレートの製作		1
	鋳造	鋳込み作業		1